

一関市議会 総務常任委員会 記録

会議年月日	令和5年4月5日(火)			
会議時間	開会	午前10時00分	閉会	午前10時28分
場 所	第2委員会室			
出席委員	委員長 沼倉 憲二		副委員長 佐藤 幸淑	
	委員 小岩 寿一		委員 千葉 栄生	
	委員 佐々木 久助		委員 佐藤 浩	
	委員 武田 ユキ子		委員 千葉 幸男	
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	熊谷局長補佐兼調査係長、石川主査			
出席説明員	なし			
本日の会議に 付した事件	所管事務調査 ・先進地視察について ・調査項目について ・その他			
議事の経過	別紙のとおり			

総務常任委員会記録

令和5年4月5日

(午前10時00分 開会)

委員長 : ただいまの出席委員は8名であります。

全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会します。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

本日の案件は、御案内のとおりであります。

初めに、所管事務調査に係る先進地視察を議題とします。

前回の委員会において視察が必要なテーマを設定し、それに基づいて視察先を選定することとしたところであり、各委員においてテーマや視察先を検討して持ち寄ることとしておりました。

既に、本日までに御提案をいただきましたテーマ、視察先につきましては、資料にまとめ、タブレットに掲載のとおりでありますので、事務局より説明させます。

熊谷書記。

書記 : それでは説明をさせていただきます。

先進地視察の提案ということで、既に何人かの委員のほうから視察先についてテーマと、それから具体的な都市名について提案があります。

それにつきましては一覧表ということでまとめて資料に掲載しているとおりでございます。

テーマについては記載のとおりですし、隣の調査項目対応番号というのが総務常任委員会で設定しております12項目の調査項目の番号を記載しているところでございます。

それから視察先ということで具体的な都市名を記載してございます。

提案のありました、テーマそれから視察先について事務局のほうでもインターネットを活用しながら事前に確認させていただいたのですけれども、いずれもテーマ、それから内容に沿った先進的な取組をされているというようなことでございます。

上からですけれども、例えば福島県会津若松市につきましてはスマートシティということで、これも先進的な取組をされているところでございますし、それから中ほどに静岡県がありますが静岡市であったり、様々な都市がありますけれども、防災先進県ということでこちらも先進的な取組をされているところでございます。

それから中段少し下のほうに、静岡県島田市というのがございます。

こちらについて公共施設のマネジメントについて先進的な取組をしているということでございます。

こちらについて、事務局のほうで提案させていただいたところでございます。

それから一番下ですけれども、滋賀県大津市については議会のほうで、若者の投票率向上に向けての仕組みづくりをされておりますので、こういったところもなかなか5番については先進的な取組というところがあまり見当たりませんでしたので参考になるのかと思ひまして、こちらも掲載をさせていただいたというところでございます。

説明は以上でございます。

委員長：それでは今の先進地視察の候補地というか、提案が御覧のとおり何件か出ておりますので、これに基づいて具体的に進行したいと思っておりますけれども、暫時休憩をしながら皆さんと議論したいと思っております。

暫時休憩します。

(休憩 10:05～10:10)

委員長：再開いたします。

それではどなたか視察先あるいは日程的なものを含めて発言をお願いしたいと思います。

佐藤幸淑委員。

佐藤(幸)委員：視察先の候補でございますが、防災DXに取り組んでいる静岡県静岡市を軸にその近くということで静岡県島田市の公共施設マネジメント、あとは三重県になりますが三重県桑名市の公民連携の研究調査をしていくという案ではいかがでしょうか。

日程は2泊3日ということで御提案をさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。

委員長：ただいま佐藤幸淑委員から日程と視察先の意見がありましたけれども、そのほか御意見の方ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長：なければ、意見交換を終わります。

それでは視察につきましては2泊3日で静岡県静岡市それから島田市、三重県桑名市、具体的な視察項目は記載になっている内容で視察をするということにしたいと思っております。

それで視察先との調整や詳細な日程などにつきましては、正副委員長に一任願いたいと思っておりますが、大方の皆さんの日程について、いつ頃よろしいか。

特にこの時期に視察をしたほうが良いという意見がある方はいらっしゃいませんか。

佐藤浩委員。

佐藤(浩)委員：相手方のこともあるものですからその辺についての調整は正副委員長にお願いし、委員は極力というか、参加するという方向で日程は調整してもらうということではないでしょうか。

委員長：ただいま佐藤浩委員から御意見がありましたけれども、詳細の日程等につきましては正副委員長に一任したいというような話ですけれども、そのように取り進めることに御異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : 御異議ありませんので、さよう決しました。

それでは、以上で所管事務調査に係る先進地視察についての協議を終わります。

次に調査項目についてを議題とします。

調査を一通り終了し、各委員の意見等をまとめた項目につきましては提言書を作成しており、本日、議長を通じ、市当局に提言することとなります。

それ以外の項目につきましては、早い時期に調査を実施することとしておりますが、今後の調査日程の案を作成しておりますので、事務局から説明させます。

熊谷書記。

書記 : それでは、令和5年度の総務常任委員会調査事項の進め方(案)ということで資料に基づきまして、説明をいたします。

まだ提言という形でまとまっていない、継続調査事項6項目ございます。

このうち、1番、5番、6番、9番については市当局のほうから説明をいただくというように予定にしておりました。

当局のほうで人事異動等で、なかなか4月は対応が厳しいというところもございますので、当局からの説明につきましては5月を予定したいという考えでございます。

それから現地調査ということで1番と10番と12番、こちらを現地調査するという予定でございました。

こちらについては同じような施設でございますので、まとめて管内調査というような形で現地調査を行ってはどうかという案でございます。

こちらについてはなるべく早い時期ということでございますので、4月の日程を確保できればということでございます。

最後に視察研修ということで、5番の投票率向上への高校生の取組と課題ということですが、こちらについては選挙管理委員会のほうから具体的な説明を受けることとしたと思いますけれども、先ほどの先進地視察のところでも説明いたしましたが、滋賀県大津市議会で、若者の投票率の向上に向けた取組をやっておりますのでオンラインを活用しながらひとつ検証してみてもどうかという案でございます。

以上が継続調査分になりますし、もし地域で調査が必要だというようなことがあれば、今日ここで御協議いただいて追加をしてもいいのかというようなことで下のほうは空欄にしております。

説明は以上でございます。

委員長 : 継続調査分の日程は今の説明のとおり4月に現地調査、5月当局説明、それから選挙絡みは6月というようなことで大方日程は示されましたけれども、この日程で進めることでいいでしょうか。

武田委員。

武田委員：いずれこれは積み残しというようなものの調査です。

新年度の、新たにまたその課題等をお互い出し合って今年度の事業を決める必要があると思いますが、そのタイミングはどうするのかなどをお諮りしていただければいいのではないかと思います。

委員長：それでは積み残しの6つの案件については今説明があった、大方の日程で取り組むことでいいでしょうか。

それからこの新規調査分についても、皆さんから提案があればその後の委員会の際に提案できるように、ひとつ皆さんに検討をさせていただいて、ここで提案されてもなかなか急なことですから。

これによると4月に現地調査をやるというようなことですから、それまで皆さんの新しい調査項目を検討してもらって次回の委員会の際に提案してもらおうということでそういう取組をひとつお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

千葉委員。

千葉委員：各委員に渡して書いてもらったという経過があったのですが、そういう形でやったらどうでしょうか。

委員長：何か様式を示したいと思います。

それからあまり新規が多くてもまた、積み残しもありますので厳選の上、提案をお願いしたいと思います。

佐藤浩委員。

佐藤（浩）委員：私たちの任期も9月までということを見ると、このメンバーでもって9月の間にその提言書をまとめるということをもう1回、本日のプラスでやらなければいけないと思うので、そうするとその調査項目等についてはあまり多く、多いと言ってはあれですけれども、いずれここにあるまず6項目については今後やっていくことだし、そのプラス幾らかということで、そう考慮しながら進めなければいけないという思いがしますのでよろしくお願いします。

委員長：佐藤浩委員がおっしゃるとおり、三つは必ずやらないと駄目だと、マスト。

それから新規は、なかなか多くてもまた大変ですので、それが一つ。

新規を受け付けないというのではなくて、新規を絞って9月を意識して取り組みたいと思いますから、よろしくお願いします。

それでは今後の調査項目につきましては、ただいまお話がありましたように進めたいと思いますのが異議ありませんか。

（「なし」の声あり）

委員長：なければ、以上で調査項目についての協議を終わります。

次に、その他に入ります。

次回の委員会の開催日程について協議いたします。

暫時休憩します。

(休憩 10:19～10:25)

委員長 : 休憩前に引き続き会議を開きます。

次回の委員会につきましては4月24日、あるいは26日のいずれかに決めたいと思いますが、正副委員長に日程をお任せいただきたいと思いますが、異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、そのように対応したいと思います。

次回の総務常任委員会では現地調査を行うこととし、担当部と調整して後日連絡いたしますのでよろしくお願いします。

ほかに皆様から何かございませんか。

佐藤浩委員。

佐藤(浩)委員 : 先日発表された早稲田大学マニフェスト研究会の中で、今年の議会改革度は一関市が39位と出ましたが、まさにこの提言等がなされていないという評価はあの中で出ているので、これ今度の調査が来たときには、この辺はやはり強く出すとポイント稼げる中身なので、まさに今までやってこなかったというのはそのとおりだけれども、事務方のほうでその辺上手に、この間登米市との研修会のときも、ポイントとなるところをつかんでやると、ポイントになりますよというのを御指導いただいた議員もいらっしまったので、やはりこういったものをきちんと出してもらうようによろしくお願いします。

そうしたことによって、一関市の順位は上がったのだけれども、奥州市とかから落ちるということでもないですしよろしくお願いします。

委員長 : その辺はしっかりと何て言うか事実を伝えてもらうということで、熊谷書記、今度は石川書記、内容を聞いて、今の趣旨でポイントの中に入れてもらうと。

提言しているという内容を、お願いいたします。

ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : ほかにないようですので、以上で予定した案件の協議は終わります。

なお、本日11時より全員協議会室において、議長から市長に提言書を提出いたしますので、委員の皆様にも同席願います。

以上をもって本日の委員会を終了します。

御苦労さまでした。

(午前 10 時 28 分 終了)